

○対象：道内自治体の都市、建築、企画部局等の職員

○内容：

- ・外部講師による特別講義、道総研職員等に各種講義
- ・参加者と道総研職員でまちづくり戦略を考えるワーク
- ・全参加者によるまちづくり戦略の提案と討論

○申込方法：

下記URLのページから参加申込書をダウンロード、必要事項を記入し、10月31日(月)までにメール添付にてお申し込みください。

▼道総研まちづくり塾2022の申込方法等の詳細はこちら

http://www.hro.or.jp/list/building/koho/event/event_r04-m.html

○申込み・お問い合わせ先

- ・地独)北海道立総合研究機構 建築研究本部 企画調整部 企画課
- ・TEL：0166-66-4218
- ・E-mail：nrb(a)hro.or.jp ※(a)を@に変えてください。

/////////
■研究紹介

「同時使用率の確率論的算出手法の構築による中央熱源方式の熱源機器容量の最適化」
建築研究部 環境システムG 阿部 (令和元年～3年度 公募型研究)

暖房や給湯の熱源機器容量(定格能力)は、厳寒日や大量にお湯を使用する時でも能力が不足しないように、各種安全率を乗じて設定されます。新築時には運用実態を予測することができないため、熱源機器容量に過大な余力を持たせる傾向がありますが、その場合、機器効率(自動車言えば燃費)が低下する可能性があるとともに、イニシャルコストが増大します。

集合住宅で1か所の熱源機器から各住戸に温水を供給する方式(中央熱源方式)を想定すると、居住者の生活スケジュールは各住戸で異なるため、各住戸における最大熱負荷が同時に生じることは極めて稀です。そこで、各住戸の最大熱負荷の合計値に対する、実際に建築物全体で発生した最大熱負荷の割合(「同時使用率」と定義します)が明らかになれば、熱源機器容量の適正化につながります。

そこで本研究では、中央熱源方式の暖房システムが採用された集合住宅を対象として、同時使用率の実態把握や、確率論的な手法に基づく同時使用率の算出手法を構築しました。また、同時使用率を考慮することで熱源機器容量を適正化できる可能性を試算し、それにより得られる省エネ効果を検討しました。今後は、さらにオフィスビル等の非住宅建築物も対象にして、同時使用率の実態等を調査していきたいと考えています。

▼本研究の研究紹介資料については下記URLからご覧ください。

http://www.hro.or.jp/list/building/pdf/R3gaiyou/R3_poster06.pdf

////////////////////////////////////

■依頼試験制度の紹介（防耐火関係）

弊所には防耐火実験室があり、耐火炉（試験体3.2m×3.2m）、小型加熱試験装置（試験体0.8m×0.8m）、コーンカロリメータ試験、不燃性試験装置およびガス有害性試験装置を保有しています。

防耐火関係の依頼試験は、建材・住宅メーカーが、開発中の建築部材や窓、建材について、建築基準法で定められる防耐火性能や不燃性能を満たすのか確認するために、ご依頼いただく

場合が多いです。近年の試験実績には、以下のような試験がございます。

- ・難燃化処理した建材の発熱性試験：17万円程度（1種類3試験体）
- ・高い断熱性と防火性能を両立する木造部材の防火試験：40万円程度（1試験体）
- ・防火設備として製品化を目指した樹脂サッシ窓の防火試験：35万円程度（1試験体）

建築部材や窓等の防耐火性能や建材の不燃性能を評価・確認する試験につきまして、ご要望がございましたら、お気軽にご相談いただければと思います。

▼依頼試験制度の詳細については下記URLからご覧ください。

http://www.hro.or.jp/list/building/bptc/h/irai_siken1.html

////////////////////////////////////

■お知らせ

□ホームページの更新情報

□2022年10月27日更新

「北総研防火木外壁（枠組 PS 仕様）」が、建築基準法における防火構造の国土交通大臣認定を取得し、実用化されました。（法人本部へのリンク）

https://www.hro.or.jp/info_headquarters/domin/press20221027.pdf

□2022年10月24日更新

一般競争入札（開口部気密・水密試験機の制御装置）について

<http://www.hro.or.jp/list/building/koho/press1/nyuusatsu2022.html>

□2022年10月18日更新

【参加申込 〆10/31(月)】11/15(火)～17(木) 道総研まちづくり塾2022を開催します。

http://www.hro.or.jp/list/building/koho/event/event_r04-m.html

□2022年9月28日更新

【プレスリリース】北総研シンポジウム『これからの住まいのあり方』の開催について（法人本部へのリンク）

https://www.hro.or.jp/info_headquarters/domin/press20220928.pdf

□2022年9月22日更新

メールマガジン「建築研究本部かわらばん」(vol. 158)を配信しました。

<http://www1.hokkaido-jin.jp/mail/magazine/>

■管理者からのお知らせ

2022年6月号(VOL. 155)より、メルマガの配信方法が変更となりました。

登録内容の変更や配信停止または、アドレスを登録した覚えのない方は、お手数ですが下記URL内の「メールマガジンの変更」をクリックし、手続きを行ってください。

メールアドレスの変更、配信停止の手続きを行ったにもかかわらず、行き違いにより配信される場合がございます。ご了承ください。

▼購読申込・変更・配信停止はこちら

<http://www1.hokkaido-jin.jp/mail/magazine/>

購読申込は「新規登録」、変更・配信停止の場合は「メールマガジンの変更」を、クリックし、手続きを行ってください。

ご登録いただいた情報は、メールマガジンの配信及びイベント情報の配信を目的として利用し、それ以外の目的に使用することはありません。

▼その他お問い合わせメールフォーム

メルマガに関するご質問やご意見等がございましたら、下記URL内のお問い合わせフォームに入力し、送信してください。

https://www.hro.or.jp/cgi-bin/mail/index.php?id=hokusoken_q

発行：(地独)北海道立総合研究機構 建築研究本部

<http://www.hro.or.jp/list/building/>

各種SNSで業務紹介しています！

<http://www.facebook.com/nrb.bdrd/>

<http://www.youtube.com/c/道総研建築研究本部チャンネル>